

「登米市 事業承継に係るアンケート調査」 ＜アンケート集計結果＞

1. アンケート実施概要

(1) 調査の目的

登米市内において、後継者不在による廃業等の事業承継に係る課題を把握し、事業承継支援について検討するため。

(2) 調査対象

調査対象は、市内の商工会（登米中央商工会、みやぎ北上商工会、登米みなみ商工会）会員。調査票送付先は以下のとおり。

調査票送付先一覧

送付先	送付数
登米中央商工会	692
みやぎ北上商工会	593
登米みなみ商工会	675
合計	1,960

(3) 調査方法と調査期間

調査方法は、調査票を郵送にて送付。対象企業は、郵送した調査票に回答し返送、またはオンラインで回答のいずれかを選択できるミックスモード調査にて実施。

調査期間は、令和6年11月14日～12月5日

(4) 回収率

対象企業 1,960 社中の回収率:34.7%(対象企業数 1,960 社中 681 社)

(郵送回答:555 社、ウェブ回答:126 社)

(5) 表記について

- ・ アンケート調査結果における各設問の母数 N (Number of case の略)は、設問に対する有効回答数を示す。
- ・ 表示した比率は小数点以下第 2 位で四捨五入しているため、表示した比率の合計が 100.0%にならない場合がある。また、図表中にある小計の比率は、各選択肢の比率を合計した数値と異なる場合がある。
- ・ 単一回答の設問に対し、複数回答したもの、または回答上限数を超えた回答は、特段の記載がない場合、無効扱いとする。

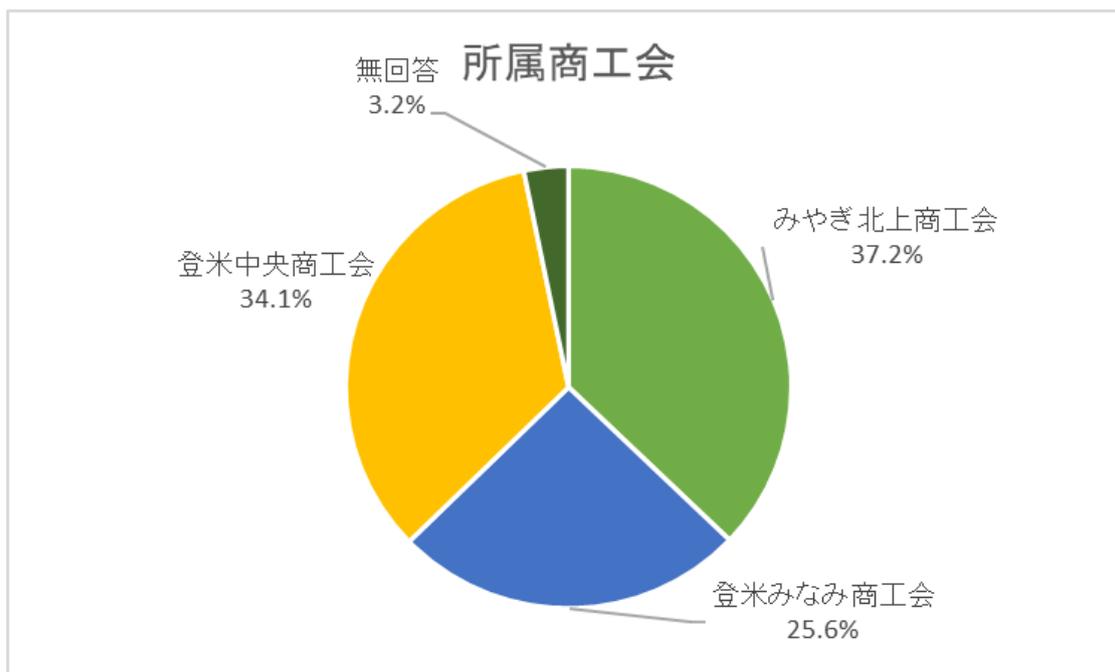
2. アンケート調査報告

【1】貴社の概要について(N=681)

回答企業の基本情報は以下のとおり。

<所属商工会>

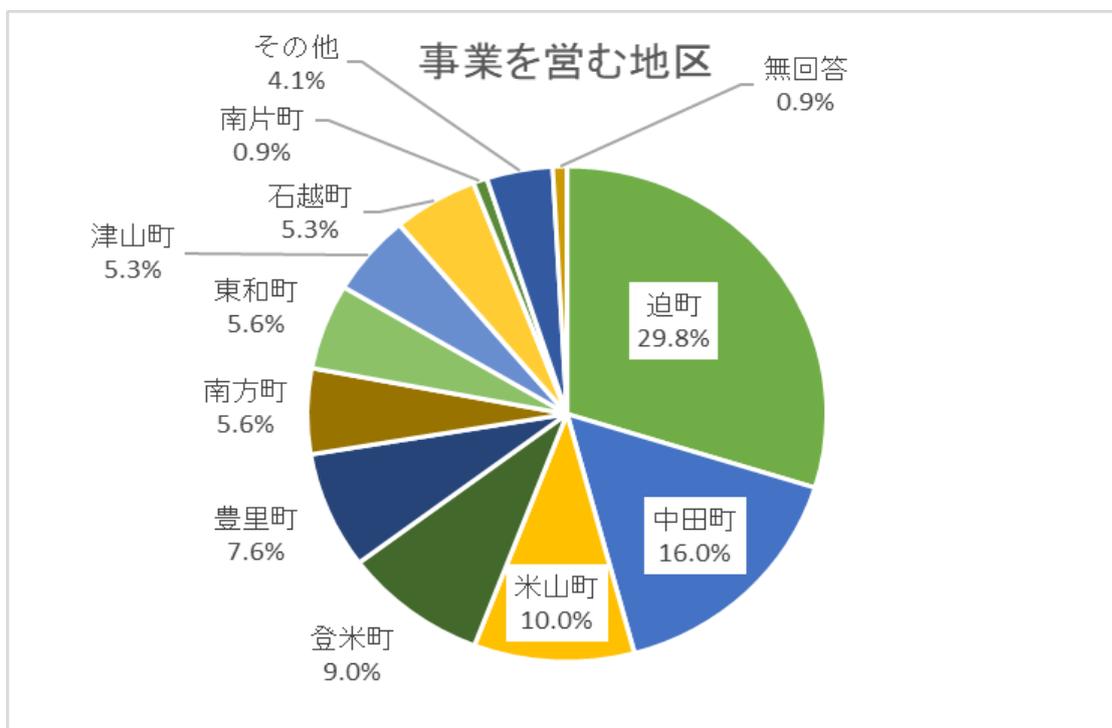
所属商工会では、「みやぎ北上商工会」(37.2%)が最も多く、次いで「登米市中央商工会」(34.1%)、「登米みなみ商工会」(25.6%)であった。



回答内容	回答数	割合
みやぎ北上商工会	253	37.2%
登米みなみ商工会	174	25.6%
登米中央商工会	232	34.1%
無回答	22	3.2%
合計	681	

<事業を営む地区>

事業を営む地区では、「迫町」(29.8%)が最も多く、次いで「中田町」(16.0%)、「米山町」(10.0%)であった。

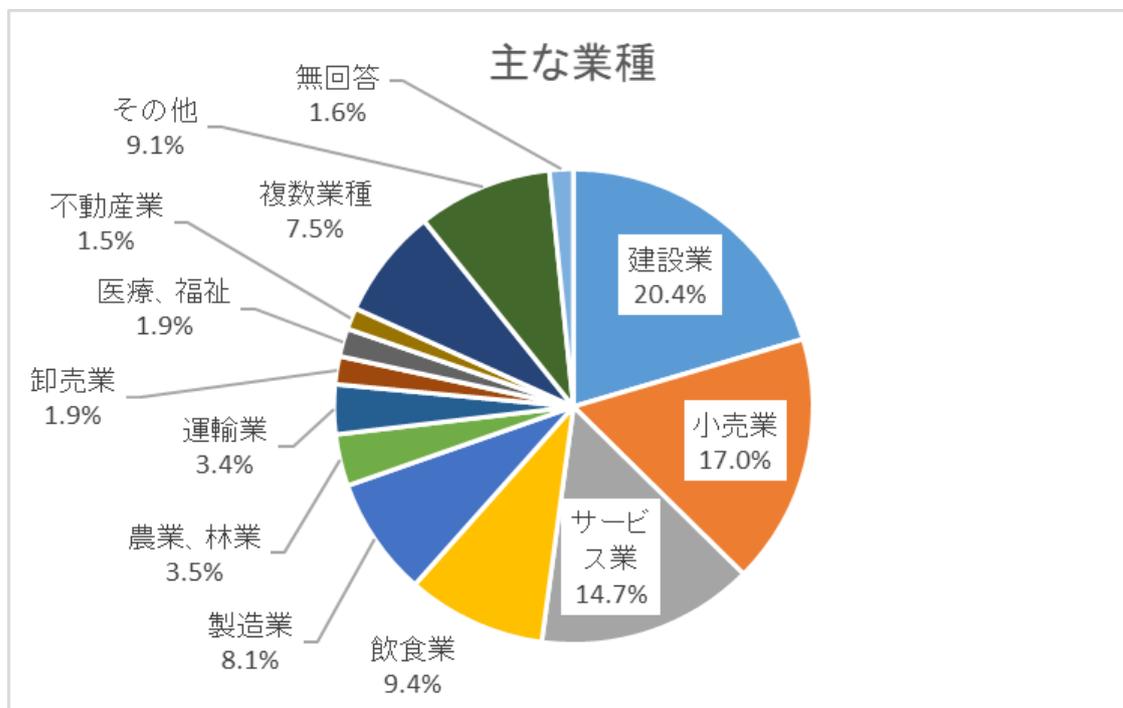


回答内容	回答数	割合
迫町	203	29.8%
中田町	109	16.0%
米山町	68	10.0%
登米町	61	9.0%
豊里町	52	7.6%
南方町	38	5.6%
東和町	38	5.6%
津山町	36	5.3%
石越町	36	5.3%
南片町	6	0.9%
その他	28	4.1%
無回答	6	0.9%
合計	681	

※複数町を選択、「お祭り、イベントでの出店」、選択肢以外の町名を含むものは「その他」に集約

<主な業種>

主要な業種では、「建設業」(20.4%)が最も多く、次いで「小売業」(17.0%)、「サービス業」(14.7%)であった。

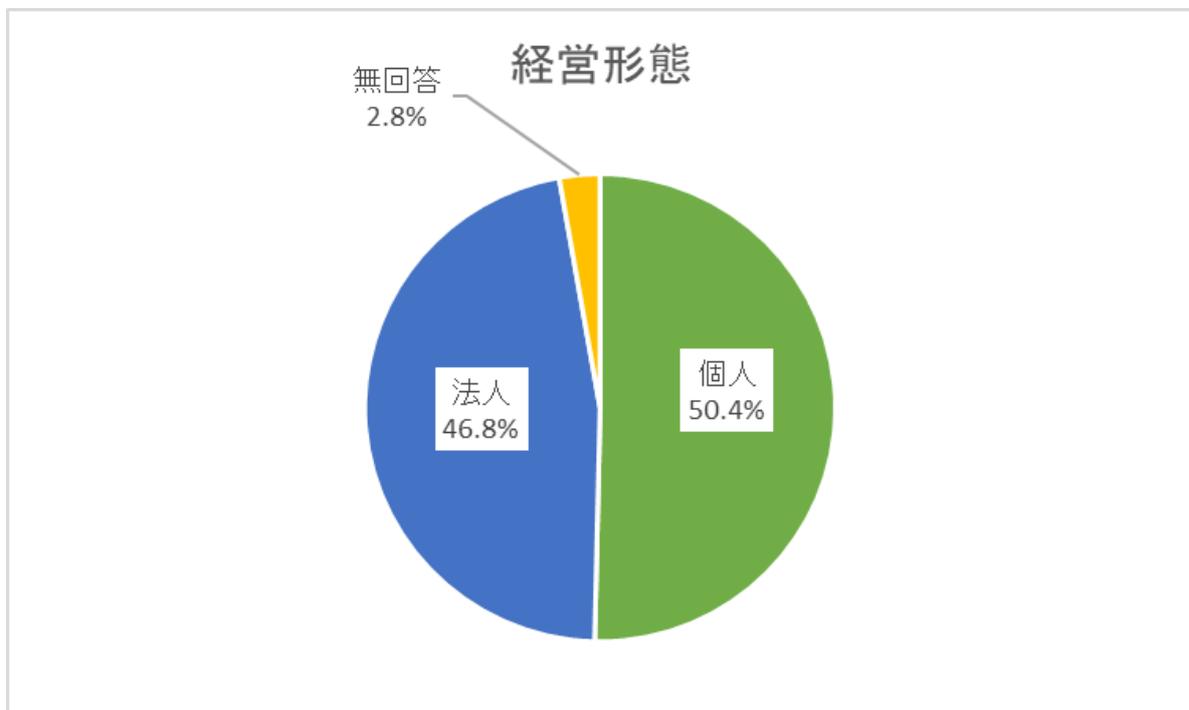


回答内容	回答数	割合
建設業	139	20.4%
小売業	116	17.0%
サービス業	100	14.7%
飲食業	64	9.4%
製造業	55	8.1%
農業、林業	24	3.5%
運輸業	23	3.4%
卸売業	13	1.9%
医療、福祉	13	1.9%
不動産業	10	1.5%
複数業種	51	7.5%
その他	62	9.1%
無回答	11	1.6%
合計	681	

その他には、「情報通信業(2)」、「宿泊業(2)」などがあった。

<経営形態>

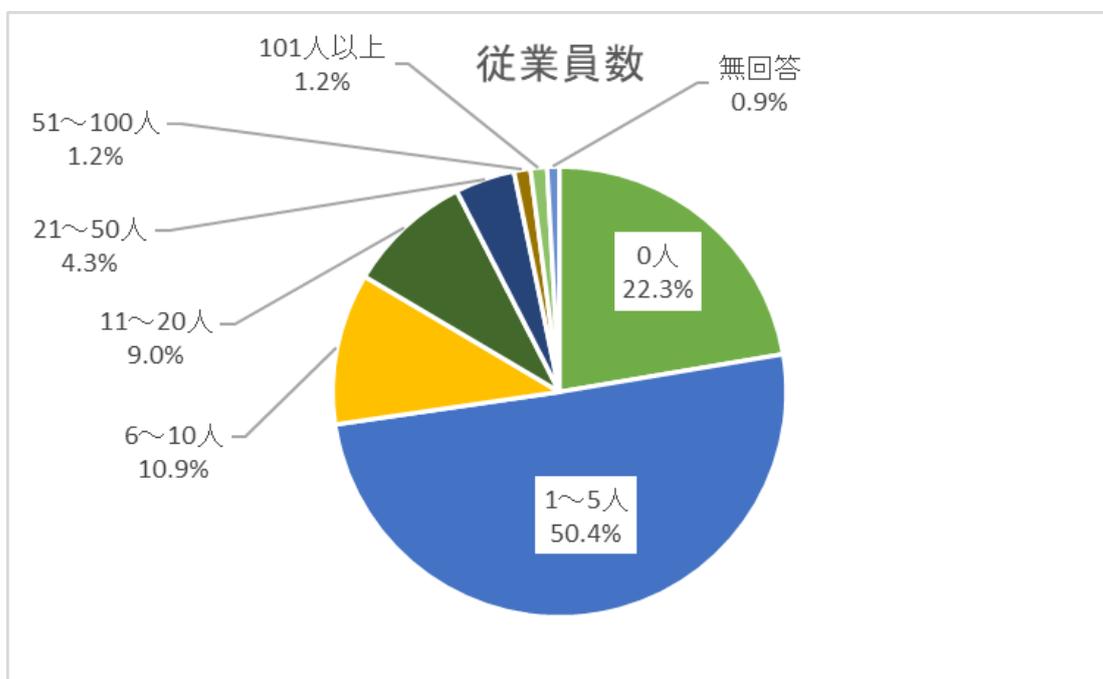
経営形態では、「個人」(50.4%)、「法人」(46.8%)、「無回答」(2.8%)であった。



回答内容	回答数	割合
個人	343	50.4%
法人	319	46.8%
無回答	19	2.8%
合計	681	

<従業員数(常勤※役員は除く)>

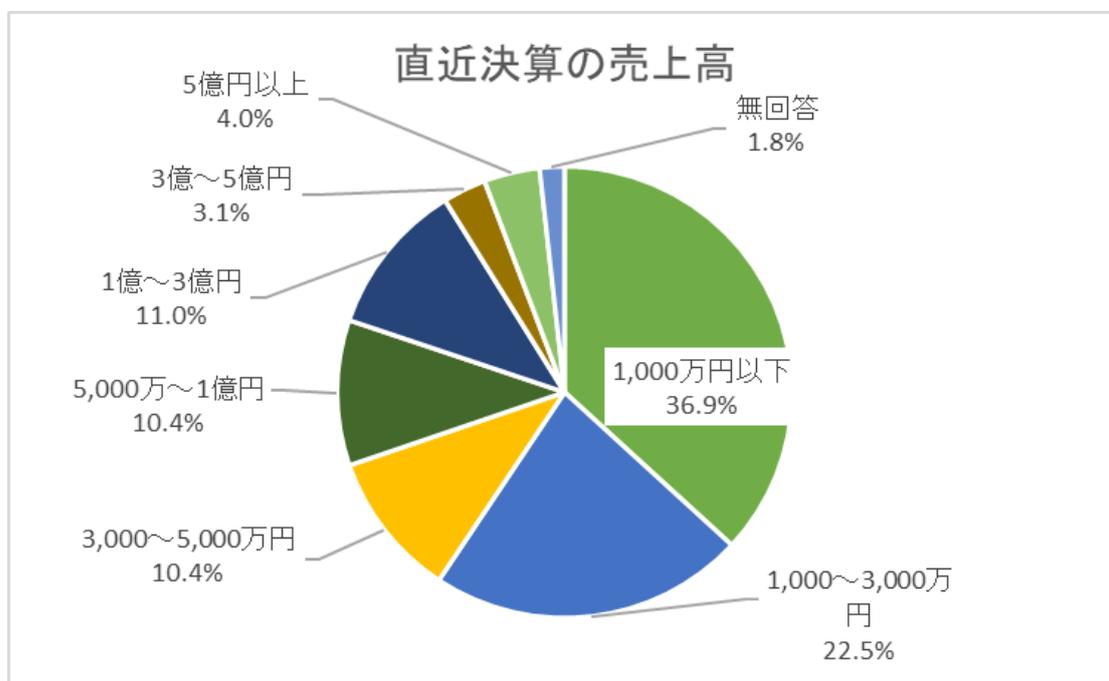
従業員数では、「1～5人」(50.4%)が最も多く、次いで「0人」(22.3%)、「6～10人」(10.9%)であった。



回答内容	回答数	割合
0人	152	22.3%
1～5人	343	50.4%
6～10人	74	10.9%
11～20人	61	9.0%
21～50人	29	4.3%
51～100人	8	1.2%
101人以上	8	1.2%
無回答	6	0.9%
合計	681	

<直近決算の売上高>

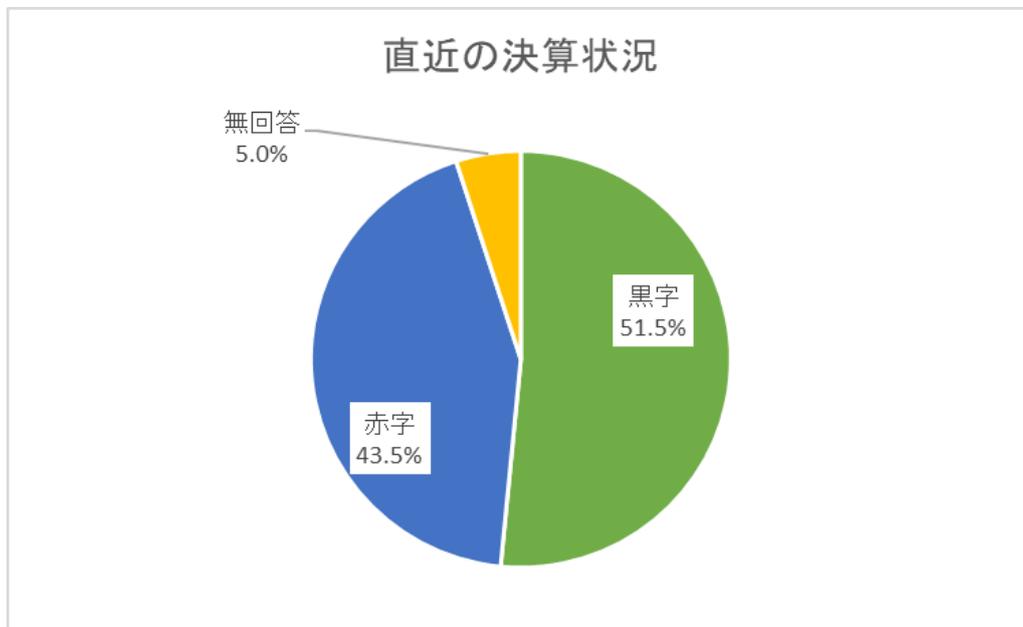
直近決算の売上高では、「1,000万円以下」(36.9%)が最も多く、次いで「1,000～3,000万円」(22.5%)、「1億～3億円」(11.0%)であった。



回答内容	回答数	割合
1,000万円以下	251	36.9%
1,000～3,000万円	153	22.5%
3,000～5,000万円	71	10.4%
5,000万～1億円	71	10.4%
1億～3億円	75	11.0%
3億～5億円	21	3.1%
5億円以上	27	4.0%
無回答	12	1.8%
合計	681	

<直近の決算状況>

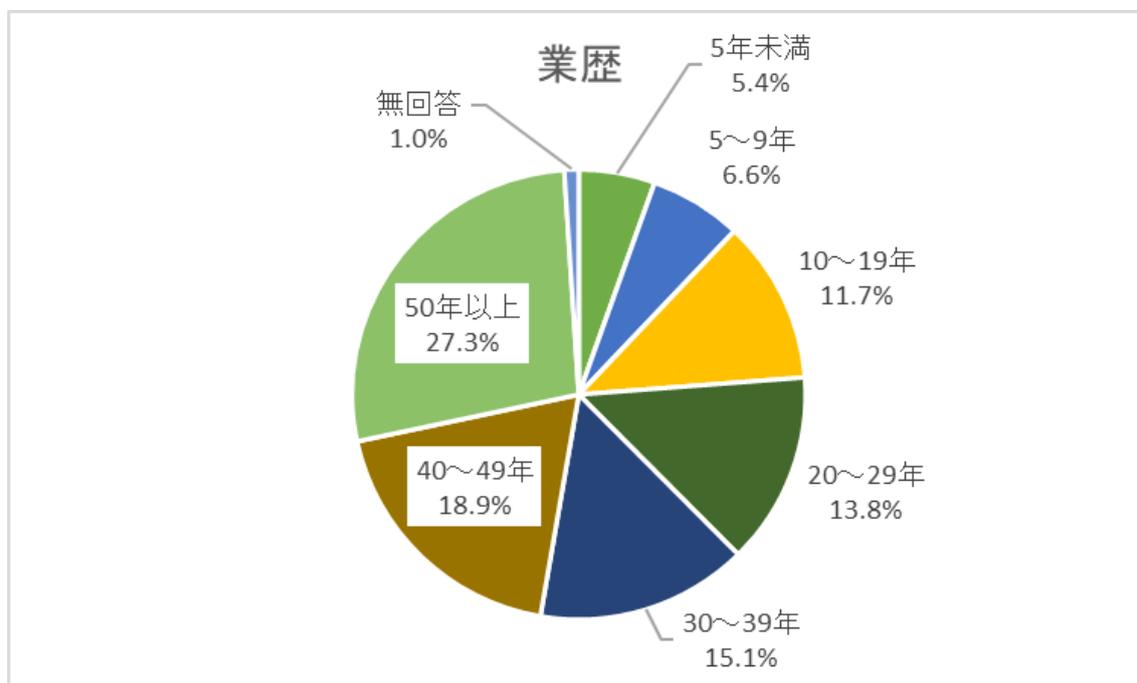
直近の決算状況では、「黒字」(51.5%)、「赤字」(43.5%)、「無回答」(5.0%)であった。



回答内容	回答数	割合
黒字	351	51.5%
赤字	296	43.5%
無回答	34	5.0%
合計	681	

<業歴>

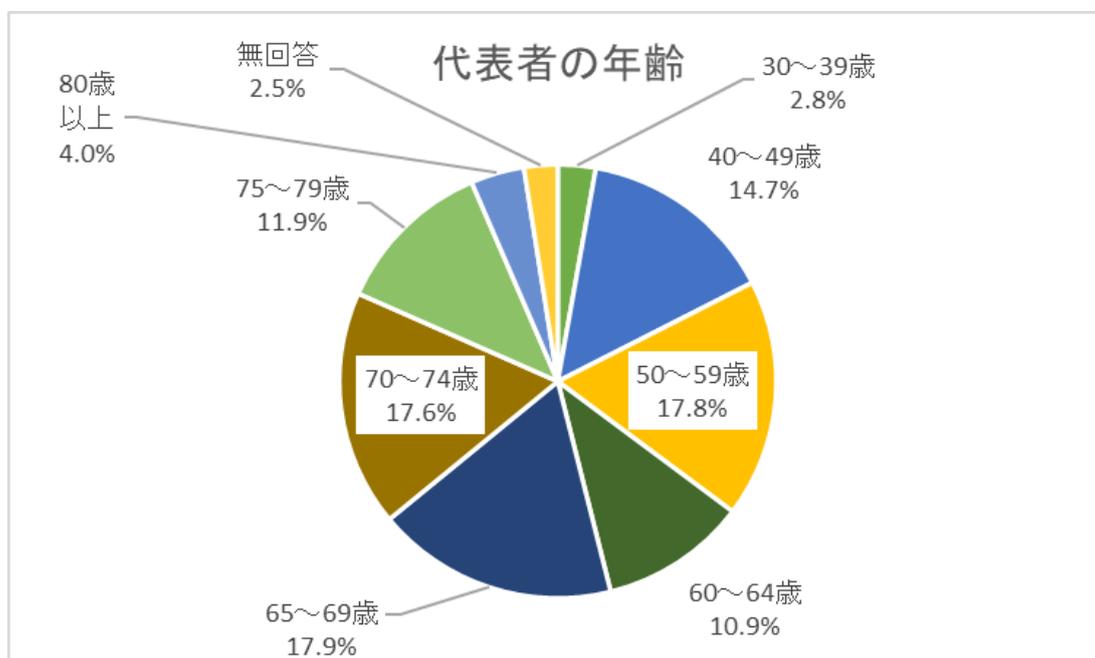
業歴では、「50年以上」(27.3%)が最も多く、次いで「40～49年」(18.9%)、「30～39年」(15.1%)であった。



回答内容	回答数	割合
5年未満	37	5.4%
5～9年	45	6.6%
10～19年	80	11.7%
20～29年	94	13.8%
30～39年	103	15.1%
40～49年	129	18.9%
50年以上	186	27.3%
無回答	7	1.0%
合計	681	

<代表者の年齢>

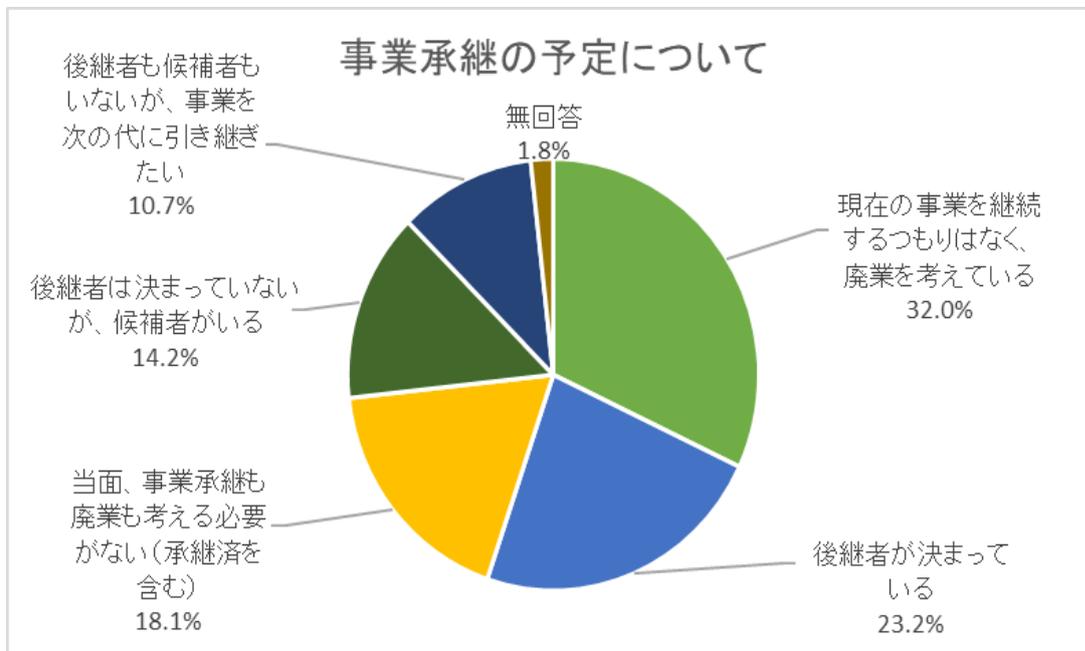
代表者の年齢では、「65～69歳」(17.9%)が最も多く、次いで「50～59歳」(17.8%)、「70～74歳」(17.6%)であった。



回答内容	回答数	割合
30歳未満	0	0.0%
30～39歳	19	2.8%
40～49歳	100	14.7%
50～59歳	121	17.8%
60～64歳	74	10.9%
65～69歳	122	17.9%
70～74歳	120	17.6%
75～79歳	81	11.9%
80歳以上	27	4.0%
無回答	17	2.5%
合計	681	

【2】事業承継の予定について(N=681)

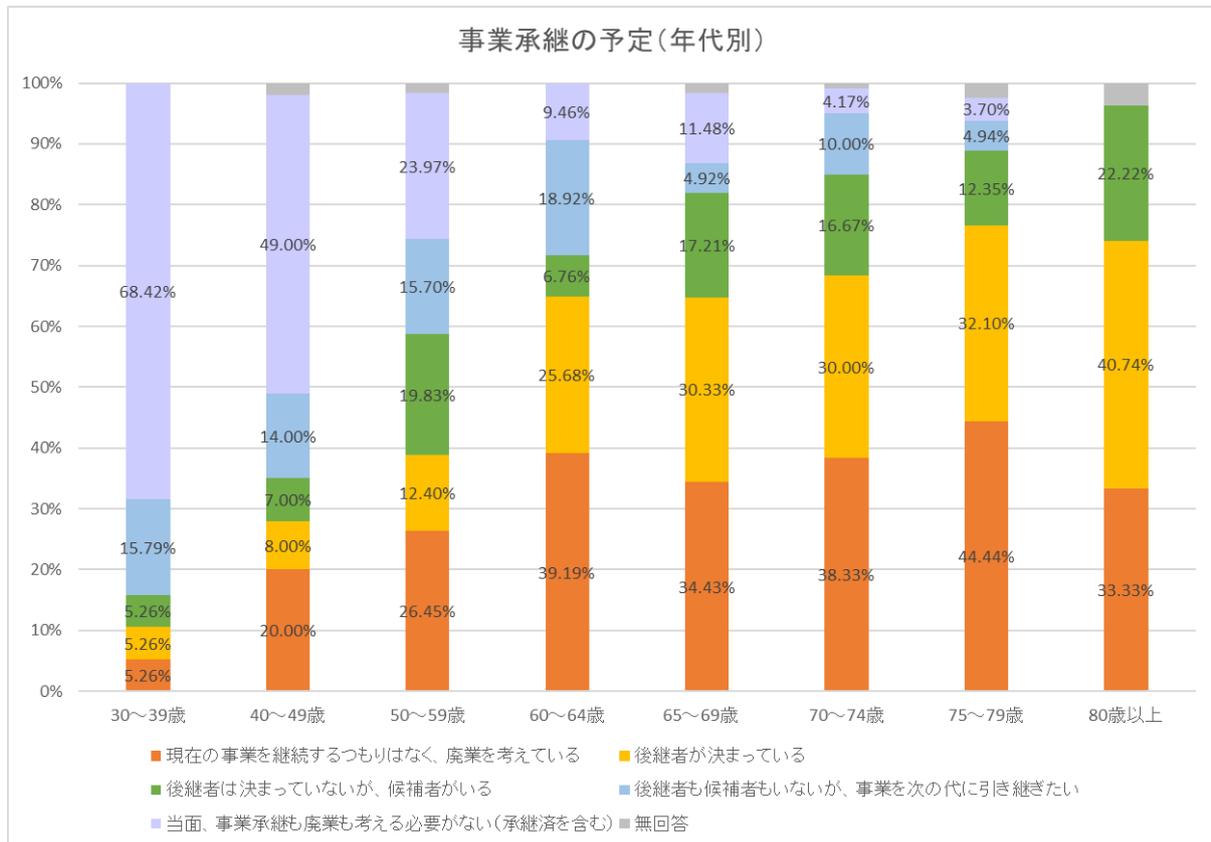
事業承継の予定については、「現在の事業を継続するつもりはなく、廃業を考えている」(32.0%)が最も多く、次いで「後継者が決まっている」(23.2%)、「当面、事業承継も廃業も考える必要がない(承継済を含む)」(18.1%)であった。



回答内容	回答数	割合
現在の事業を継続するつもりはなく、廃業を考えている	218	32.0%
後継者が決まっている	158	23.2%
当面、事業承継も廃業も考える必要がない(承継済を含む)	123	18.1%
後継者は決まっていないが、候補者がいる	97	14.2%
後継者も候補者もないが、事業を次の代に引き継ぎたい	73	10.7%
無回答	12	1.8%
合計	681	

事業承継の予定(年代別)(下表)では、「現在の事業を継続するつもりはなく、廃業を考えている」は、**40代で2割、60～64歳で4割弱に達する。**

「当面、事業承継も廃業も考える必要がない(承継済を含む)」は、30代で7割弱、40代で5割弱、50代では約24%になる。**多くの方が、40代～50代にかけて、事業承継について検討し始める時期と推測される。**

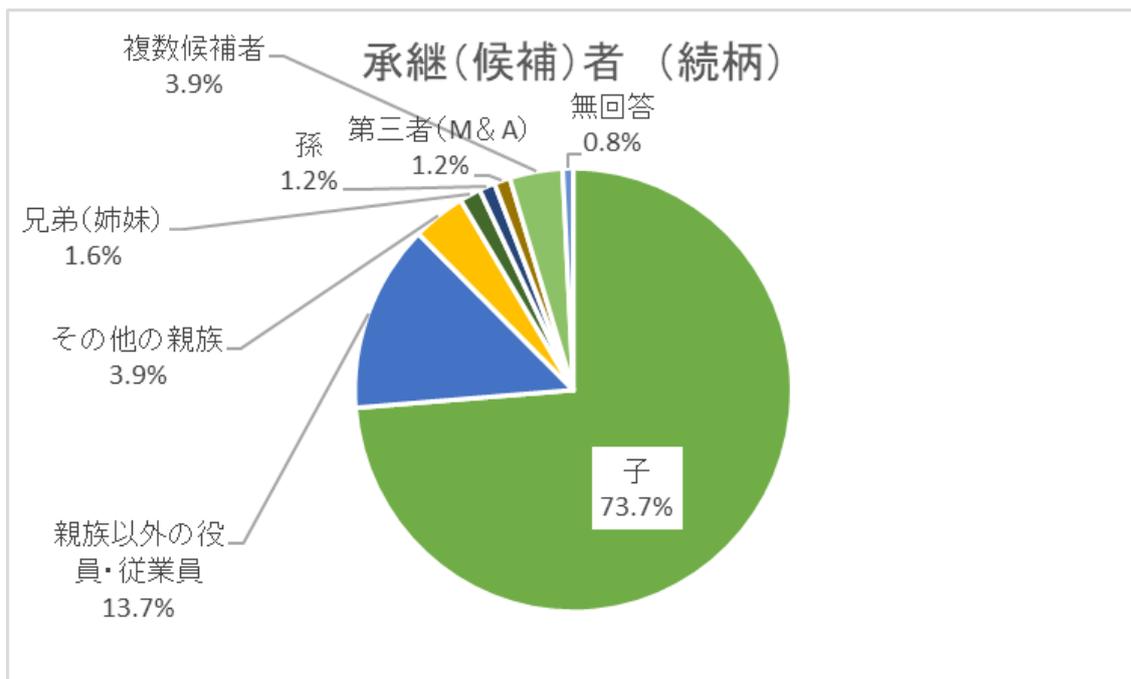


【3-1】後継者(候補者)について(N=255)

※【2】での回答「後継者が決まっている」、「後継者は決まっていないが、候補者がいる」のみの集計

<後継者(候補者)>

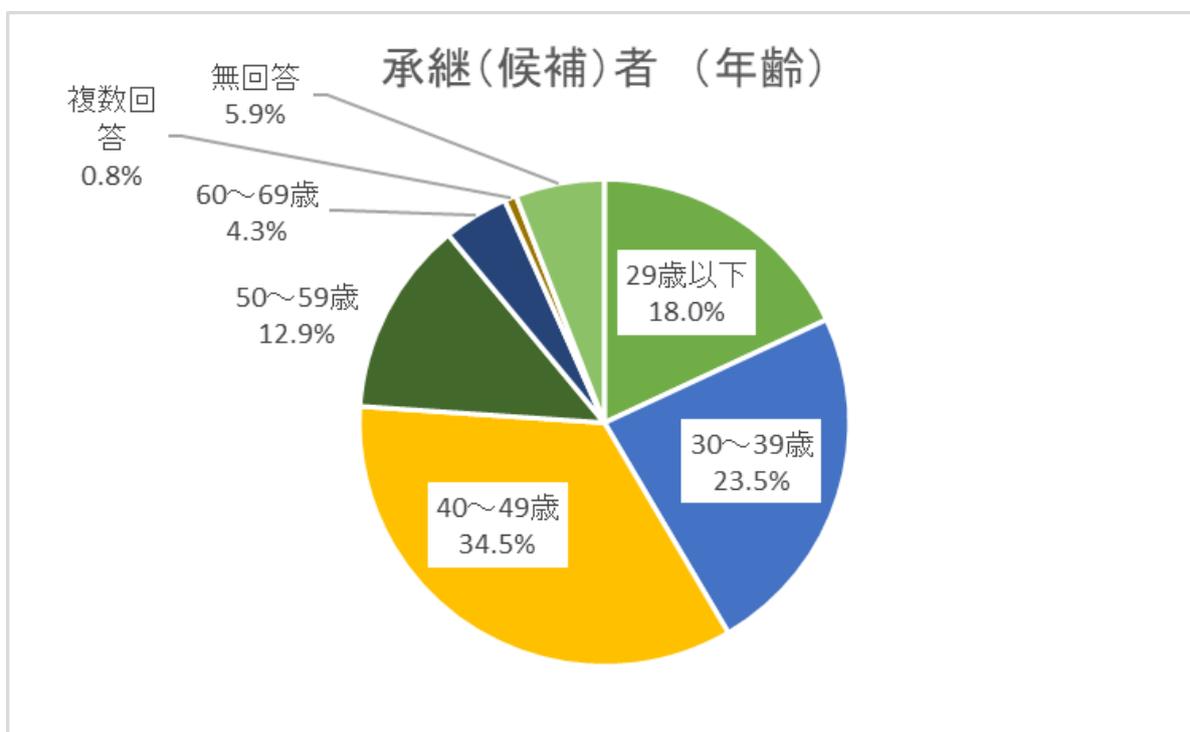
後継者(候補者)では、「子」(73.7%)が最も多く、次いで「親族以外の役員・従業員」(13.7%)、「その他の親族」(3.9%)であった。



回答内容	回答数	割合
子	188	73.7%
親族以外の役員・従業員	35	13.7%
その他の親族	10	3.9%
兄弟(姉妹)	4	1.6%
孫	3	1.2%
第三者(M&A)	3	1.2%
複数候補者	10	3.9%
無回答	2	0.8%
合計	255	

<年齢>

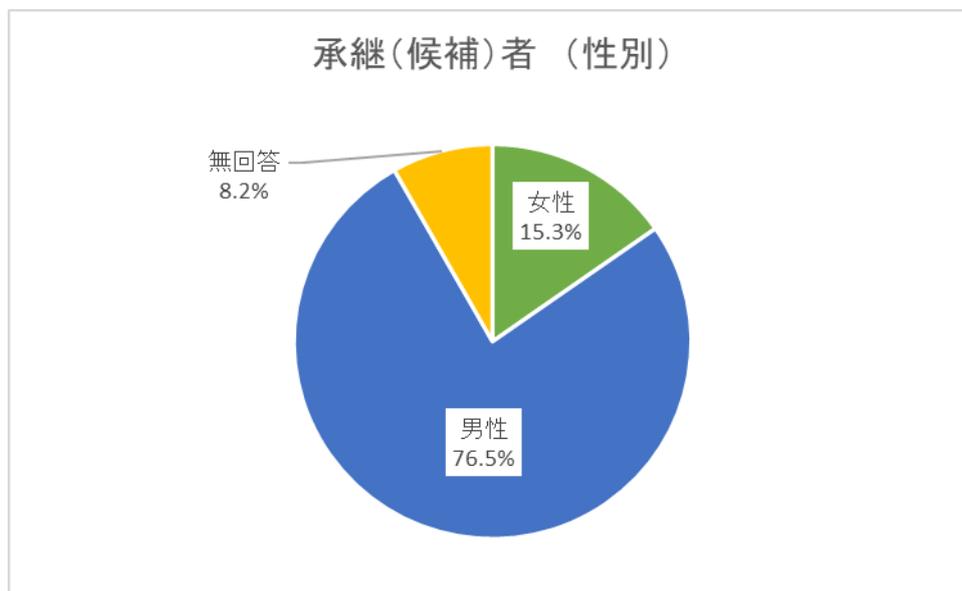
年齢では、「40～49歳」(34.5%)が最も多く、次いで「30～39歳」(23.5%)、「29歳以下」(18.0%)であった。



回答内容	回答数	割合
29歳以下	46	18.0%
30～39歳	60	23.5%
40～49歳	88	34.5%
50～59歳	33	12.9%
60～69歳	11	4.3%
70歳以上	0	0.0%
複数回答	2	0.8%
無回答	15	5.9%
合計	255	

<性別>

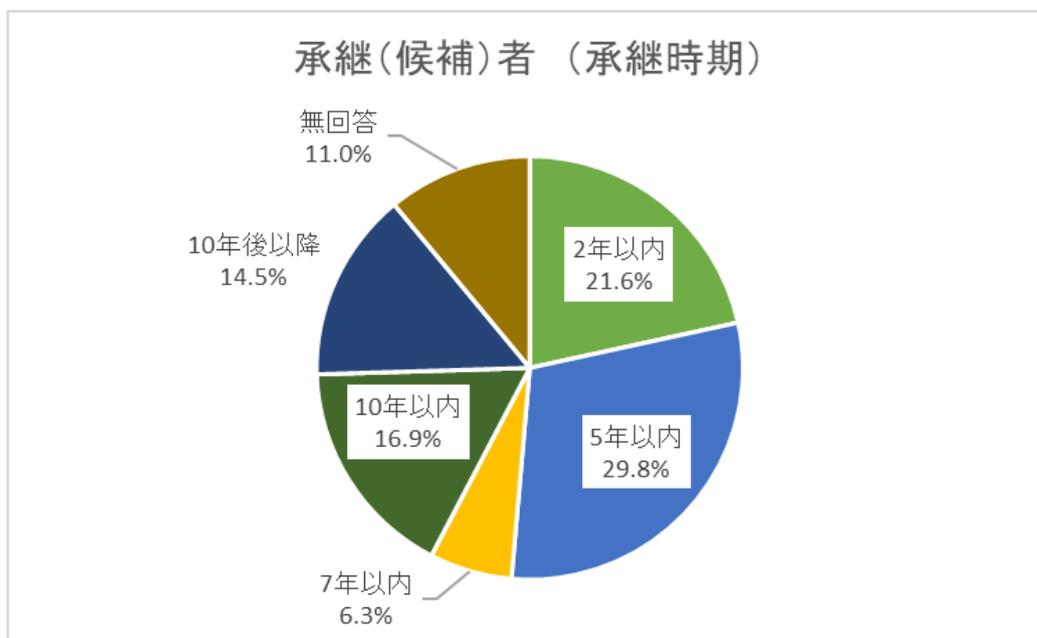
性別では、「男性」(76.5%)、「女性」(15.3%)、「無回答」(8.2%)であった。



回答内容	回答数	割合
女性	39	15.3%
男性	195	76.5%
無回答	21	8.2%
合計	255	

<承継時期>

承継時期では、「5 年以内」(29.8%)が最も多く、次いで「2 年以内」(21.6%)、「10 年以内」(16.9%)であった。**承継の時期は「5 年以内(2 年以内+5 年以内)」と考える事業者が約過半数を占める。**



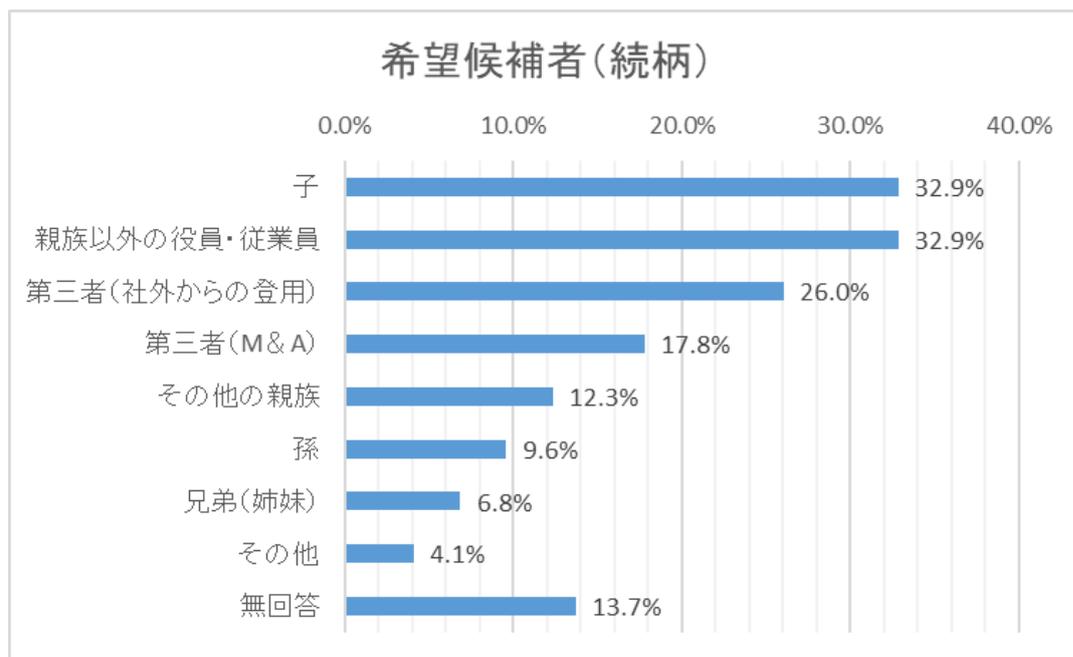
回答内容	回答数	割合
2 年以内	55	21.6%
5 年以内	76	29.8%
7 年以内	16	6.3%
10 年以内	43	16.9%
10 年後以降	37	14.5%
無回答	28	11.0%
合計	255	

【3-2】引き継ぎ先として希望する候補者(複数回答可)(N=73)

※【2】での回答「後継者も候補者もないが、事業を次の代に引き継ぎたい」のみの集計

<希望する事業承継先>

希望する事業承継先では、「子」(32.9%)と「親族以外の役員・従業員」(32.9%)が最も多く、次いで「第三者(社外からの登用)」(26.0%)、「第三者(M&A)」(17.8%)であった。



回答内容	回答数	割合
子	24	32.9%
親族以外の役員・従業員	24	32.9%
第三者(社外からの登用)	19	26.0%
第三者(M&A)	13	17.8%
その他の親族	9	12.3%
孫	7	9.6%
兄弟(姉妹)	5	6.8%
その他	3	4.1%
無回答	10	13.7%

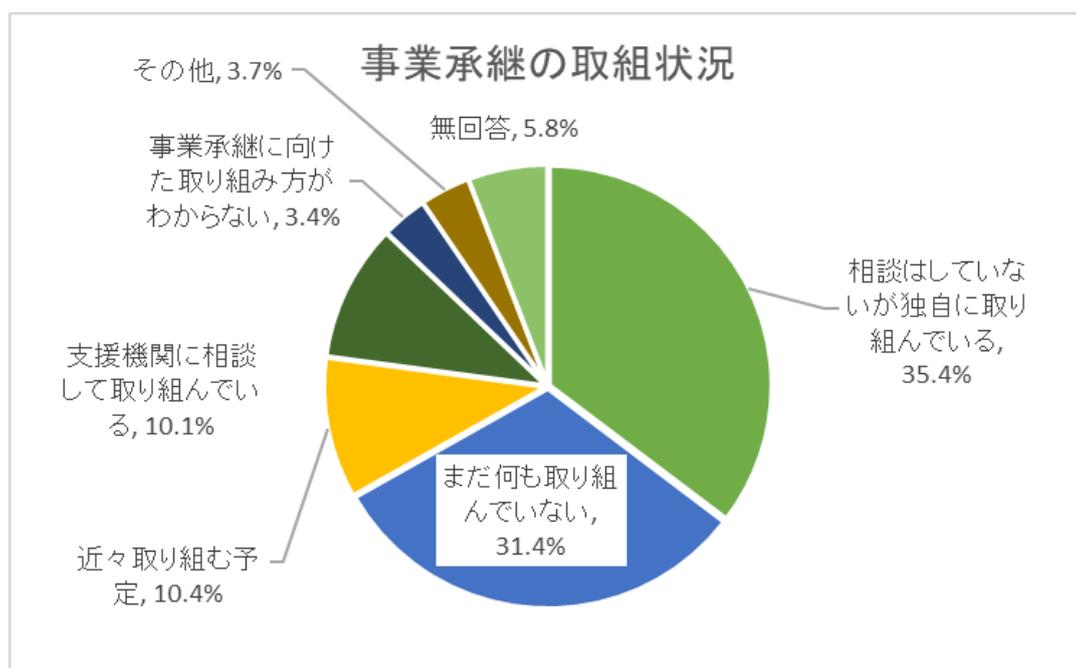
【4】事業承継の取り組み状況について(N=328)

※【2】での回答「後継者が決まっている」、「後継者は決まっていないが、候補者がいる」、「後継者も候補者もないが、事業を次の代に引き継ぎたい」のみの集計

＜事業承継の取り組み状況について＞

事業承継の取り組み状況については、「相談はしていないが独自に取り組んでいる」(35.4%)が最も多く、次いで「まだ何も取り組んでいない」(31.4%)、「近々取り組む予定」(10.4%)であった。

「相談はしていないが独自に取り組んでいる」(35.4%)、「まだ何も取り組んでいない」(31.4%)、「事業承継に向けた取り組み方がわからない」(3.4%)を合計すると約 7 割となり、支援ニーズの余地があるものと推測される。



回答内容	回答数	割合
相談はしていないが独自に取り組んでいる	116	35.4%
まだ何も取り組んでいない	103	31.4%
近々取り組む予定	34	10.4%
支援機関に相談して取り組んでいる	33	10.1%
事業承継に向けた取り組み方がわからない	11	3.4%
その他	12	3.7%
無回答	19	5.8%
合計	328	

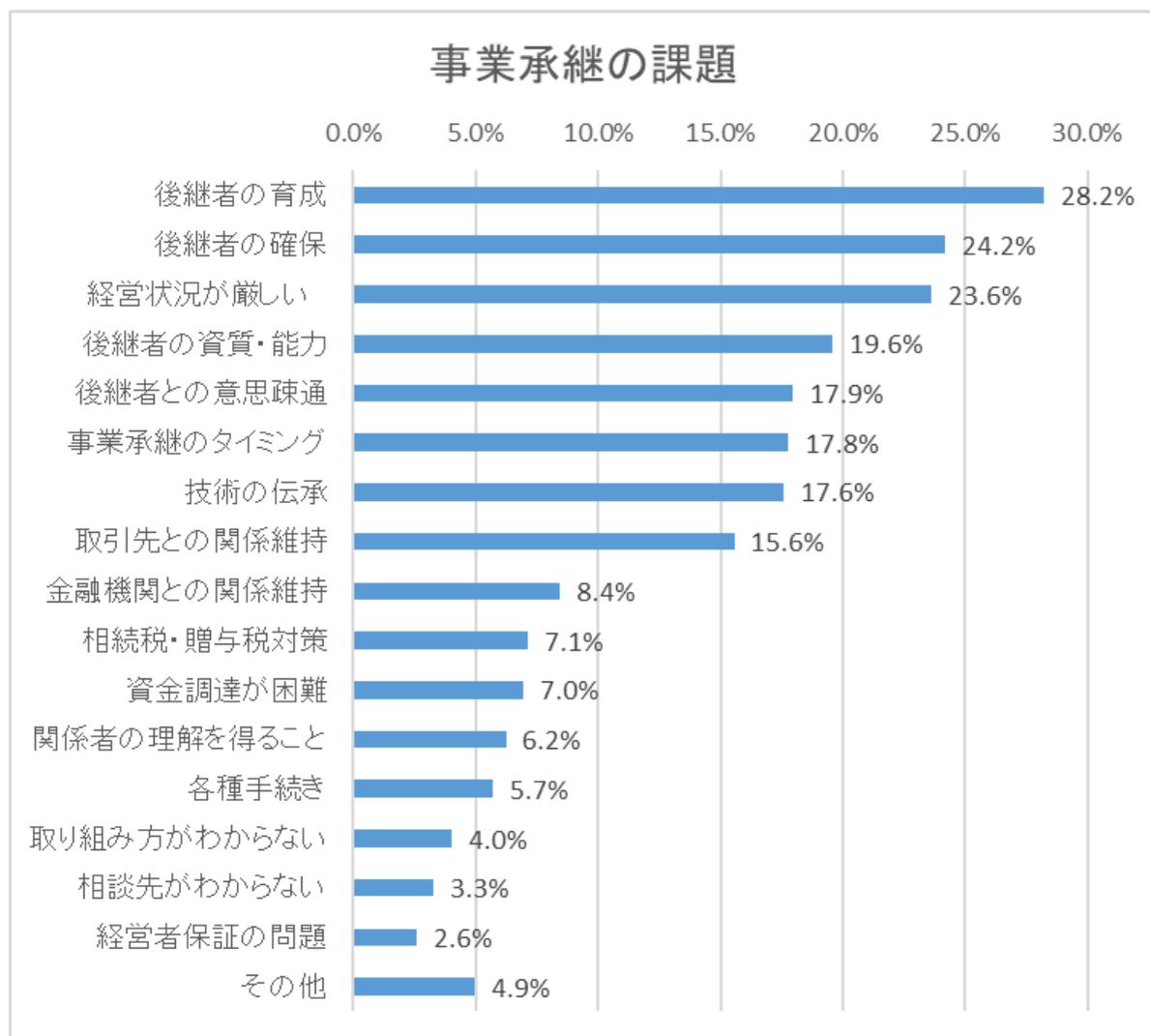
※その他には複数回答含む。

【5】事業承継を検討する上での課題(複数回答可)(N=546)

※【2】での回答「後継者が決まっている」、「後継者は決まっていないが、候補者がいる」、
「後継者も候補者もないが、事業を次の代に引き継ぎたい」、
「現在の事業を継続するつもりはなく、廃業を考えている」のみの集計

<事業承継を検討する上での課題>

事業承継を検討する上での課題では、「後継者の育成」(28.2%)が最も多く、次いで「後継者の確保」(24.2%)、「経営状況が厳しい」(23.6%)であった。



回答内容	回答数	割合
後継者の育成	154	28.2%
後継者の確保	132	24.2%
経営状況が厳しい	129	23.6%
後継者の資質・能力	107	19.6%
後継者との意思疎通	98	17.9%
事業承継のタイミング	97	17.8%
技術の伝承	96	17.6%
取引先との関係維持	85	15.6%
金融機関との関係維持	46	8.4%
相続税・贈与税対策	39	7.1%
資金調達が困難	38	7.0%
関係者の理解を得ること	34	6.2%
各種手続き	31	5.7%
取り組み方がわからない	22	4.0%
相談先がわからない	18	3.3%
経営者保証の問題	14	2.6%
その他	27	4.9%

その他には、「技術と経営の後継者は親族でもそうでなくてもよく、事業者にしてもスキルや資質等ふさわしい同業者は(少なくとも登米市には)皆無。若者を育てるにも発掘の手立てがない。」、「子供をこの地域で仕事させる事を望まない」、「体の都合で1人でできない。(後継者)」、「経営発展を考える相手の存在」などの声があった。

【2】で「現在の事業を継続するつもりはなく、廃業を考えている」と回答した人が挙げた課題としては、「経営状況が厳しい(31.7%)」と「後継者の確保(22.0%)」が大きな課題となっている。

【2】で「後継者が決まっている」と回答した人が挙げた課題としては、「後継者の育成(27.8%)」と「事業承継のタイミング(27.2%)」が大きな課題となっている。

【2】で「後継者は決まっていないが、候補者がいる」と回答した人が挙げた課題としては、「後継者の育成(45.4%)」と「後継者との意思疎通(37.1%)」が大きな課題となっている。

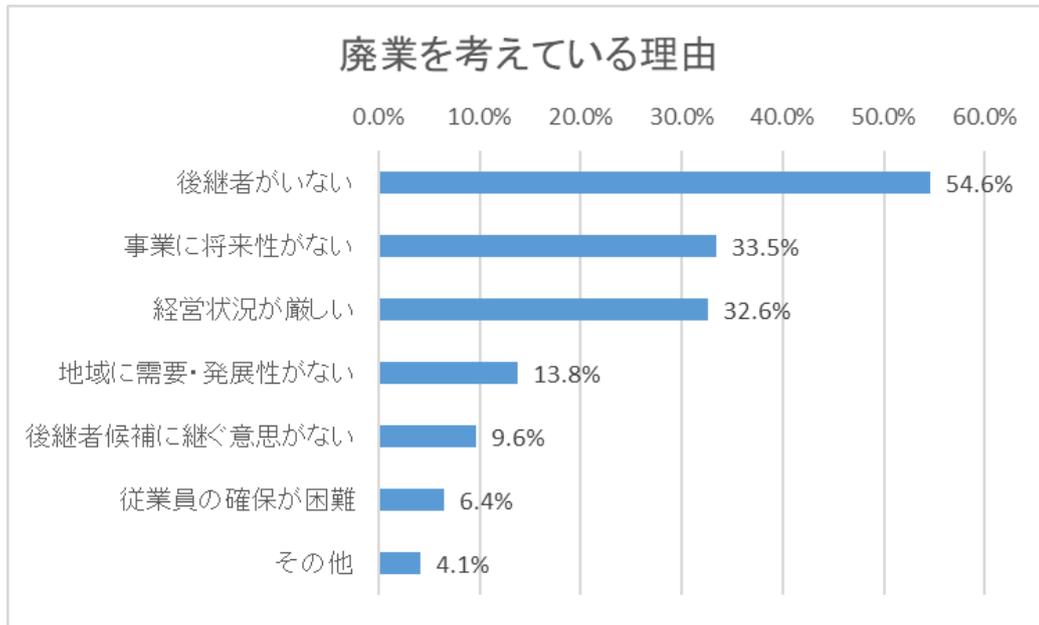
【2】での回答内容	事業承継を検討する上での課題(上位3つ)		
現在の事業を継続するつもりはなく、廃業を考えている	経営状況が厳しい (31.7%)	後継者の確保 (22.0%)	後継者の育成 (13.8%)
後継者が決まっている	後継者の育成 (27.8%)	事業承継のタイミング (27.2%)	取引先との関係維持 (24.1%)
後継者は決まっていないが、候補者がいる	後継者の育成 (45.4%)	後継者との意思疎通 (37.1%)	事業承継のタイミング (32.0%)

【6】(廃業を考えている方)廃業を考えている理由は何か(N=218)

※【2】での回答「現在の事業を継続するつもりはなく、廃業を考えている」のみの集計

＜(廃業を考えている方)廃業を考えている理由は何か＞

廃業を考えている理由では、「後継者がいない」(54.6%)が最も多く、次いで「事業に将来性がない」(33.5%)、「経営状況が厳しい」(32.6%)であった。



回答内容	回答数	割合
後継者がいない	119	54.6%
事業に将来性がない	73	33.5%
経営状況が厳しい	71	32.6%
地域に需要・発展性がない	30	13.8%
後継者候補に継ぐ意思がない	21	9.6%
従業員の確保が困難	14	6.4%
その他	9	4.1%

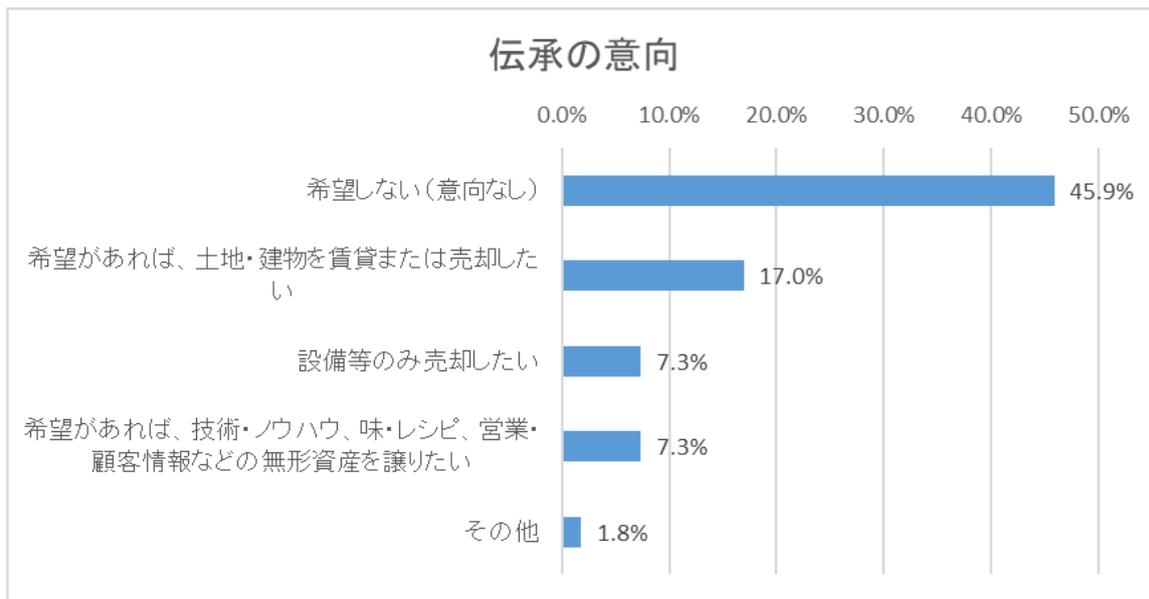
その他には、「関東～東北に仕事が無い」、「代表取締役や役員に健康不安がある」、「現状維持で、きちんと整理できる状況で終わりたい為。従業員・経営者も高齢の為。」、「この先人口減少が更に進むと思うので経営困難になる。」、「専門的な能力が必要で実務経験も必要なため」などの声があった。

【7】(廃業を考えている方)土地や建物の資産運用や味、技術の伝承をしたい意向はあるか

(複数回答可)(N=218)

<土地や建物の資産運用や味、技術の伝承をしたい意向はあるか>

土地や建物の資産運用や味、技術の伝承をしたい意向はあるかでは、「希望しない(意向なし)」(45.9%)が最も多く、次いで「希望があれば、土地・建物を賃貸または売却したい」(17.0%)、「設備等のみ売却したい」(7.3%)と「希望があれば、技術・ノウハウ、味・レシピ、営業・顧客情報などの無形資産を譲りたい」(7.3%)であった。



回答内容	回答数	割合
希望しない(意向なし)	100	45.9%
希望があれば、土地・建物を賃貸または売却したい	37	17.0%
設備等のみ売却したい	16	7.3%
希望があれば、技術・ノウハウ、味・レシピ、営業・顧客情報などの無形資産を譲りたい	16	7.3%
その他	4	1.8%

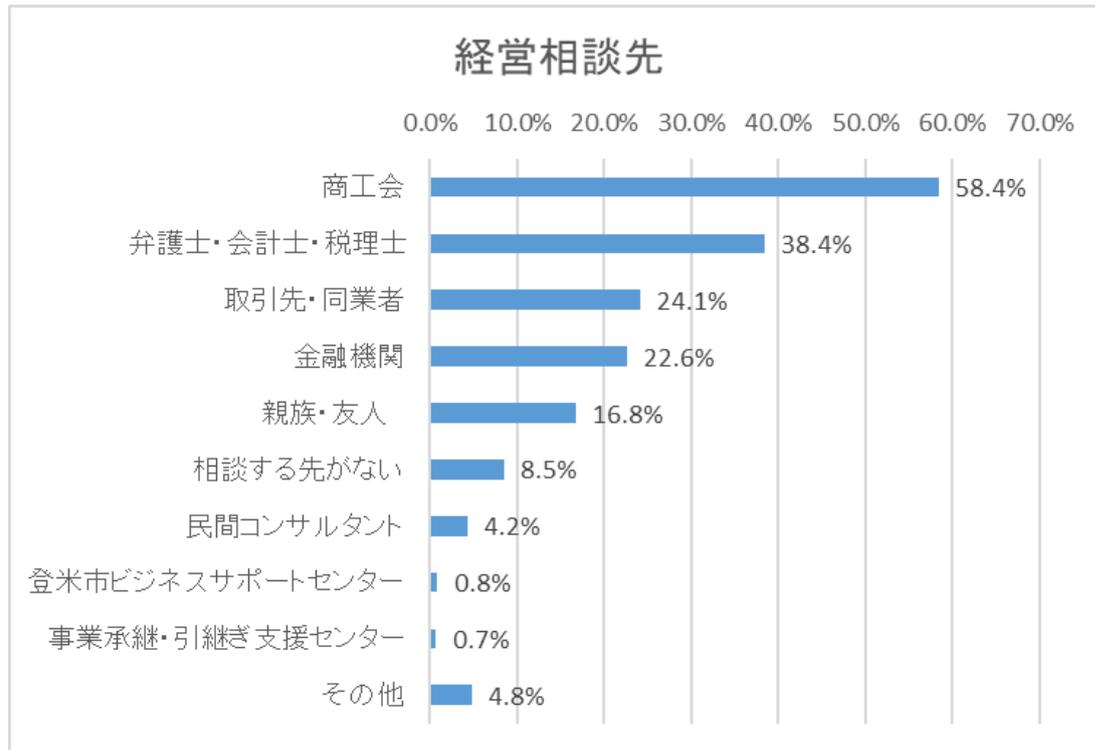
その他には、「他の業種で活用できるなら相談したい。」などがあった。

【8】経営について、普段から相談できるところはあるか(複数回答可)(N=589)

※無回答が多いため、本設問の回答者数をNとしている。

＜経営について、普段から相談できるところはあるか＞

経営について、普段から相談できるところはあるかでは、「商工会」(58.4%)が最も多く、次いで「弁護士・会計士・税理士」(38.4%)、「取引先・同業者」(24.1%)であった。



回答内容	回答数	割合
商工会	344	58.4%
弁護士・会計士・税理士	226	38.4%
取引先・同業者	142	24.1%
金融機関	133	22.6%
親族・友人	99	16.8%
相談する先がない	50	8.5%
民間コンサルタント	25	4.2%
登米市ビジネスサポートセンター	5	0.8%
事業承継・引継ぎ支援センター	4	0.7%
その他	28	4.8%

その他には、「中小企業団体中央会(1)」、「宮城県中小企業団体中央会(1)」などがあった。

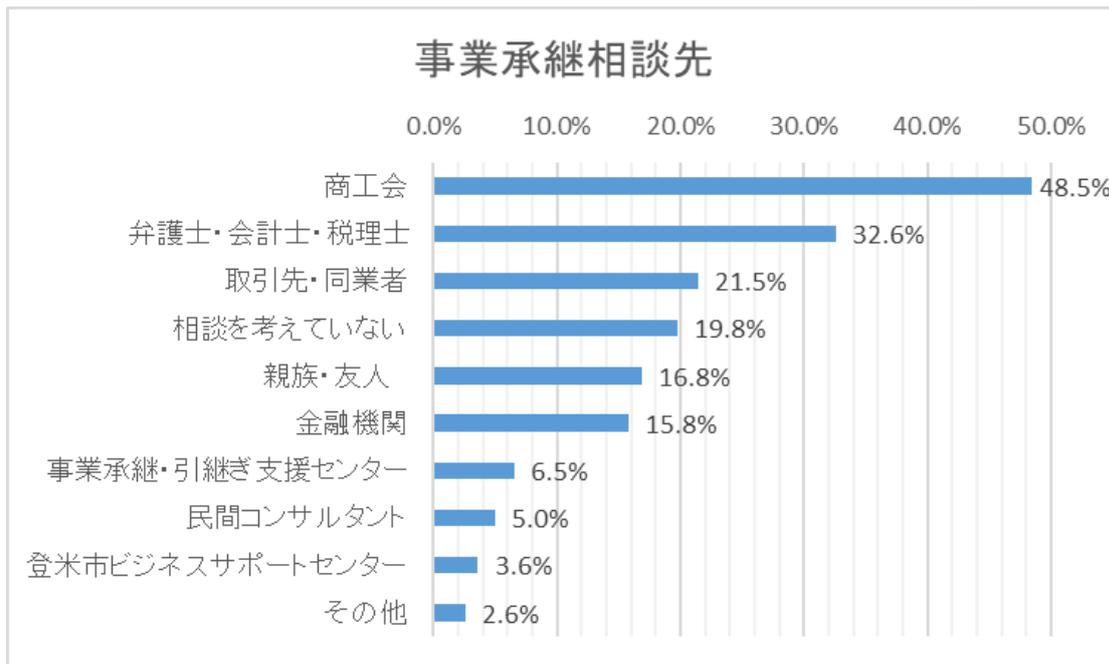
【9】今後、事業承継について相談するとすればどこに相談しますか(複数回答可)(N=582)

※無回答が多いため、本設問の回答者数をNとしている。

＜事業承継についての相談先＞

事業承継についての相談先では、「商工会」(48.5%)が最も多く、次いで「弁護士・会計士・税理士」(32.6%)、「取引先・同業者」(21.5%)であった。また、「相談を考えていない」人は2割程度いる。

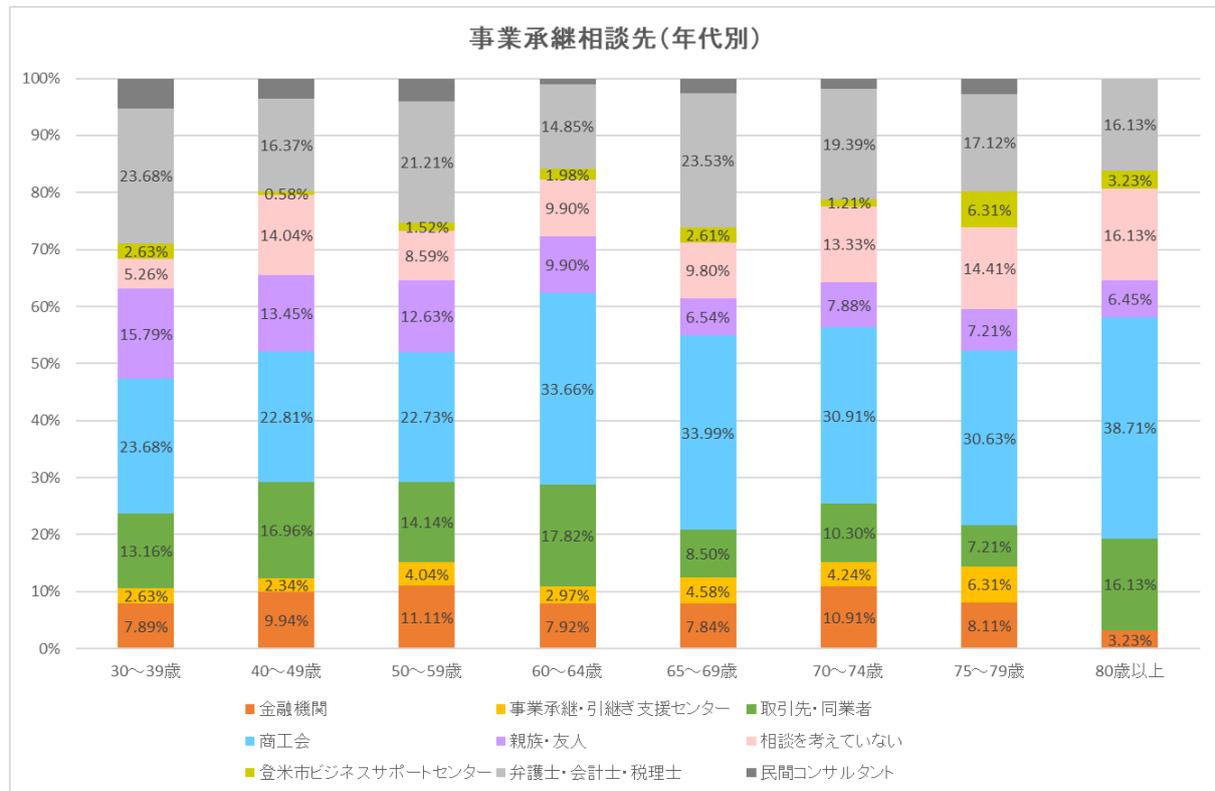
【経営相談先】、【事業承継相談先】いずれにおいても、「商工会」、「弁護士・会計士・税理士」、「取引先・同業者」が上位となっており、相談先として重要なプレイヤーであると推測される。



回答内容	回答数	割合
商工会	282	48.5%
弁護士・会計士・税理士	190	32.6%
取引先・同業者	125	21.5%
相談を考えていない	115	19.8%
親族・友人	98	16.8%
金融機関	92	15.8%
事業承継・引継ぎ支援センター	38	6.5%
民間コンサルタント	29	5.0%
登米市ビジネスサポートセンター	21	3.6%
その他	15	2.6%

その他には、「相談先がわからない(2)」、「宮城県中小企業団体中央会(1)」、「中小企業団体中央会(1)」などがあった。

下表、事業承継相談先(年代別)では、「**商工会**」はどの年代層でも**最多**。また、**40代**では「**相談を考
えていない**」が**15%弱**いる。「**事業承継・引継ぎ支援センター**」や「**登米市ビジネスサポートセンター**」はど
の年代も回答割合が少ない。



※上記クロス表は、その他回答は除いた割合で作成。また母数は延べ数としている

【10】事業承継について、不安に思っていることや相談先に期待することなど自由に記載してください

①社会・経済状況に対する不安

<1. 社会経済面>

- ・ 少子高齢による人口減少
- ・ 円安により仕入れの値段の高騰
- ・ インボイスなど零細企業に廃業をするようにすることが多い。市の政策もわれわれ零細小売店になるような政策はない。イオンなど大型店にばかり気がつかっている。プレミアム商品券も市の職員は地元の小売店の活性化よりも消費者の立場で決めている。こんな地元の業者を大切にしないところに後継ぎをさせらないのではないかと？
- ・ 景気、値上げ、悪すぎです。
- ・ 今の場所で別の仕事ができればよい。年を取り今の仕事ができない。資金がないので不安。
- ・ 今後の世の中の動向に不安を感じています。
- ・ 子が後継者としているが、人口減の登米市と外資本の企業の出店で大変きびしい。支援をお願い致します。
- ・ 主人(夫)との年齢差が 26 歳なので主人が死亡したら私は子供や妹の居る母国に帰るつもりだ。
- ・ 酒類、食品、雑貨、何もかも仕入れ値があがり、仕入れ値が外のスーパーやディスカウントの売り値より高く、どうしようも無い。
高齢化が進み人口も少なくなり、辺りなこの辺りでの小売業は、むずかしくなっている。何かの補助金でもないと続けられないと思う。お年寄りの方に”やめないで”と言われるが、後、何年続けられるだろうか。
- ・ 人口が少なくなり、営業はむずかしい。
- ・ 人口減少による人手不足が不安材料
- ・ 政局、経済不安
- ・ 先が見えないので事業をやっていくことができない
- ・ 全てにおいて不利な状況にあり、日々悪化していく状況にある。先の事を相談できる状況ではない。(考えられない)我々のような個人の物品小売業は廃れるのみです。
- ・ 地元の需要減など
- ・ 二人暮らしですが、国民年金一人分なので働いても大変です。国保が高くて？
仕事があれば、お手伝いでしのいでいます。
- ・ 日本経済の先行不安。人口減少でも成立する商売を教えて欲しい。
- ・ 不安に思っていることは人口減少に歯止めがかからず特にこの地域では全盛期の 1/3 とも聞いていますし、今年度中に小学校は廃校になり、中学校もいずれ廃校と聞いています、すでに東和町では高校もすでに廃校になっています。地方自治体でも人口を維持または増加しているところもあるので良いアイデアを活かして増加させないことには登米市の将来はないですかね。なので今のところ事業継続云々ということにはならないでしょう。
これからでも遅くないので官民一体で人口増加するよう頑張っていたきたいと思います。
- ・ 不安に思っている事
 1. 仕事が少ない。

- 2. コンプライアンス等、パワハラ、セクハラなどがネックとなり、育て方がむずかしいと思ってしまう。
- 3. 3K(きつい、きたない、給料が安い)があり技術者になろうとする方が少ないので、人を集めるのがむずかしいと思っている。
- ・ 利用人口が減少し高齢化した現在に将来に希望はありません。

<2. 経営面>

- ・ コンサルしてもらっても客がこなくては商売ならぬ
- ・ 長いものには巻かれろ
- ・ 中小企業は行き先まっ暗。(特に地方の商店)
- ・ もし自分が子どもを妊娠して出産・子育てするタイミングになった際に店の維持費などをどうすれば良いか分からない。
- ・ 近隣に同業者が増加し、激戦区になっています。
集客、顧客満足度につながる様、自社でも色んな試みはしていますが、物価高等の影響もあり、来店頻度が少なくなってきました。
廃業も視野に入れながら。商工会等に相談し、継続していける様にしていきたい。又、自社に合わせた営業方法や手段等もアドバイスとして頂けると有難い。
- ・ 現在この仕事は東北では青森 1 社と弊社しかないが仕事が集まらない。以前は茨城～青森からの注文が多かった。(特に宮城、岩手、秋田が多かった) (資金繰りにこまっています。)
- ・ 現在の事業をこれからも継続してできるかどうか先行きに不安がある
- ・ 現状大変経営が厳しい。この状況で引き継いだ場合、今の状況と同じで借入金と毎月の資金繰りに追われることになると思われる。早期の引き継ぎができない。
- ・ 自家製粉、手打ちそばに取り組んでいるが、機械導入を考えている。資金の繰入
- ・ 従業員が高齢+心臓病、役員+心臓病。不安でしかない。
- ・ 人件費の増加、130 万円のかべでの人手不足等
- ・ 水道・光熱費は毎年高くなってきている。また、施設の設備品等古くなってきたので改修費等で経営に圧迫を感じる。
- ・ 単価交渉について出来るとは思えない。経済状況の変化が激しいので難しいと思えます。
- ・ 店を先代から引きついだのが 40 代だったため、親がやっていた通りに経営していたが、2～3 年で周りの環境が目まぐるしく動いた。豊里町の商売にこだわらず、もっと若い時に親から独立すべきだったと思っている。できる所まで頑張って私達の代で終りにしたい。
- ・ 登米市内、市外などでも仕事が氷河期状態で現在の仕事が大変な状態です。

②事業承継に対する不安

- ・ なるべく負債を減少させて、引継したいが、なかなか困難。さらに引継の時に資金調達を同時に考えている。今後 5 年～10 年以内を考えている。場合によって廃業も考慮している。
- ・ 引継ぎの形態がわからないので、確認をしたい。
- ・ 技術と経営の後継者は親族でも、そうでなくてもよいが、仮に事業者にしてもスキルや資質等ふ

さわしいと思える同業者は(少なくとも現在の登米市には)皆無。若者を育てるにも発掘の手立てがない。

志のある若者を育てるのが最短と考えるが、育成にもある程度、長い時間はかかるので、今すぐ若い後継者とつながったとしても、自身が生きているうちに全てを伝えるのは困難。

ある事業主様からのご相談で、プレゼンで評価はいただいたものの、私一人での事業であるがために「今後もしあなたに何かあったらどうしますか」と言われ、結局断られることもあった。

喫緊の課題と自覚しているが、どうしていいかわからない。

- ・ 結婚をしたい方が居ない。収入が少ない為あきらめている。継続できるか不安です。
- ・ 後継者は子供と考えていたが本人が承継する意欲がなく、コロナ以降業績が悪化してきているので廃業を考えている。機械は、まだ使えるので同業者でも開店するように希望しているが...現在さがしている。
- ・ 高齢である事。後継者がいない。競合する店が多くなっている。大型店が近くに出店。資金繰りが大変。廃業の決断に迷っている状態です。
- ・ 仕事はお客様相手の商売ですので、それに商品が(生)が多く、だれでもできるわけではないので、人柄や色々ありむずかしく思っております。
(売ればいい)と思っはいけないので後継者になりたいと色々な方から言われますが私たちの仕事は色々悩みどころですが今は仕事をしながら色々後継者の事を考えていきたいと思ます。
- ・ 事業をしているが借金等があるので事業承継を 10 年後以降に考えてはいるが、借金等の負債が多い場合は、事業承継が難かしいとも思っている。
- ・ 事業継承する時期にはますます地域経済が不安定になっている可能性があり、事業を引き継がせるべきか不安がある。
- ・ 事業承継したばかりなので、次の事を考える余裕はないですが、私の次の後継者はいないので、むしろ建物や不動産等の始末を考えると頭の痛い問題です！
- ・ 事業承継しても経営の安定が図られるか不安である。
- ・ 事業承継については、いろいろ問題がある。人口減でこれから、営業も困難である。最終的には廃業か別の業種に変更も考えている。
- ・ 小売業だが、農家さんに特化した販売商品を主に扱っている為、農家人口の減少は避けられない現状なので、事業を継承させていいものか不安に思っています。
- ・ 人口の減少、和室の減少、工務店さんの減少(ハウスメーカー中心の新築)で取引先の減少などで。一般客の仕事だけでは、厳しさが増している。このような状況で承継出来るか不安です。一部、多角化もしているし考えてもいますが、技術の伝承などは問題はないのですが、取り引き先の関係とか経営が大変だと思います。
- ・ 前社長の死去に伴い流れの中で承継しましたが、経営的にも年齢的にも、どれだけ続けられるのか不安だらけで、いつやめるかのタイミングを考えています。
- ・ 土地をかえして建物を解体する資金がない
- ・ 独りなので後継者になる子などない状態、いきつくところまで行く感じです。
- ・ 木炭を生産しています。30 年以上大手メーカーに供給しております。社長とは同級生、親友で共

に歩んできました。消耗品なので回転が早く、工場も全国に、ここしかない設備です。大きな費用をかけたので、私の代だけでは、もったいないので、誰か継続する人があればと思っています。

③相談先に期待すること

- ・ 現在、事業を前代表から引き継いだばかりのため、事業承継についてあまり考えていないが 10 年以内には外部から後継者候補を育成したいと考えている。そのために事業承継のメリットやデメリットを知りたいと思っているのでセミナーなどを開催してほしい。
- ・ 事業の健全な経営を維持する為の具体的なアドバイスを頂きたい。
- ・ 事業承継、引き継ぎ支援センターの存在を知りませんでした。あるなら活用したいと思います。
- ・ 商工会に相談窓口があれば教えて欲しい。
- ・ 税制上の優遇
- ・ 専門機関の支援をしていただけると大変ありがたいと思います。
- ・ 廃業を考えている市内の会社を譲渡、引き継ぎして行ける環境が出来れば良いと思う。あれば当社も利用しようと思います。

④アンケートに対する意見

- ・ このアンケートの回答は現時点での私の考えですので これからも M&A 含め柔軟に検討していきます。
- ・ このようなアンケートの結果の送付。または問題についての対応方法の具体的な例や地元の相談先の提案があると便利だと思います。
- ・ 問 2 で後継者の候補はいると答えましたが、理容師ではなく美容師として仙台市で働いていること、登米市の美容室が飽和状態であることから、事業承継は不透明です。客層も男性から女性と変化することも抵抗があること、M&Aで後継者を探してまで事業承継することも今時点では考えておりません。

⑤その他

- ・ このままの状態を引き継ぎが出来る事が理想。社員を使用して頂くこと、3~4 年位かけて、引き継ぎが出来れば良いと考えている。お互い快く、引き継ぎが起きたら最高です。買って頂きたい。
- ・ 基本的には、フランチャイズなので本部の担当者等との話合いで、どの様になるか、今後の状況を見極めたい。
- ・ 既に廃業し清算手続きに入っているので回答しておりません
- ・ 継承する者が決める事なので、廃業もやむなしと思っています。
- ・ 現状を維持しながら継承先や M&A 等も検討していきたい。
- ・ 今のところするつもりはないが、そもそも飲食業でも事業承継するのは限られた一部の店だけなので。
- ・ 今の自分ができるところまで続けていきたい
- ・ 事業後継者がいないので廃業します。
- ・ 自社株の評価額が高く、事業継承するためには多額の税金が発生する見込みです。

各機関に相談して進める予定ですが、法人税を支払い内部留保した資産や所得税を支払い残した資産にかかる税金は少額におさえてほしい。

現在、日本の税制は中小、小規模事業者の事業継承の妨げになっている。

- ・ 自分が最高の職人であるが故に、後継者には最初から期待はしていません。ただ未来の日本を背負う人間たちには、わずかながらでも希望を残し、のびのびと仕事をし、そして生活の糧を得て欲しいと切に思っています。
- ・ 自分で考えながら、他社などの事例などを見て判断して行なっていきたいと思っている
- ・ 取引銀行に、事業継承をサポートする部門があり、相談をしている。
今後2年以内に、社内に適当な人物を指名し、承諾を得ることが出来なければ、その3年後までにM&Aをお願いし、事業を継承していきたいと考えています。
出来れば、施設のあり方を理解して頂いてる地元企業をお願いしたいと思っています。
- ・ 出来れば子につがせたいが、まだ子供なので本人の意識に任せたい。適任者があれば、血縁に拘らない。
- ・ 商工会の方にいろいろ相談にのってもらっています。これからもよろしくお願ひしたいです。
- ・ 将来的に需要はまだまだ見込まれるので、出来れば事業承継していただきたい。
- ・ 税理士先生、商工会さんには、本当に助けられています。ピンポイントで今する事と事業転開等、日常会話で気軽に教えて頂いて、更に、よりくわしく知りたい時は、アポを取り沢山の資料と一緒に調べ尽力していただいております。が、いまいちとでもややこしくもある県、税務書類。労基、ハローワーク、社会保険事務所も。この面倒でややこしい書類を、もっと簡素に分かりやすく一覧にしてもらえたら承継後の不安が少し消えると思います。
- ・ 息子が病院経営して居るので、この先は考えていない。
- ・ 登米市内ですが、若者の気持が令和になって変わってきてます。商売上、部落の役割は進んだのまれて、その建物の鍵も預っています。若者の集りの飲物や食べものはコンビニやスーパーだけに走っていく若い人たちが今度一度会議の席で地元商人も助け続けてほしいことを言うつもりです。息子も役をもってますので頑張ります。
- ・ 当社は、M&Aにて5年前に事業承継したばかりで今後の承継は、今のところ考えていない
- ・ 同業者が廃業を考えている。廃業した同業者がふえた。私も、あと5.6年で廃業を考えている。
- ・ 特にはないですが、自分がやれるうちは継続しできなくなったら廃業予定。
但し、お客様がいるのでその方は他の同業者の方に移行する方向で考えてる
- ・ 令和3年に継承済みです。

以上